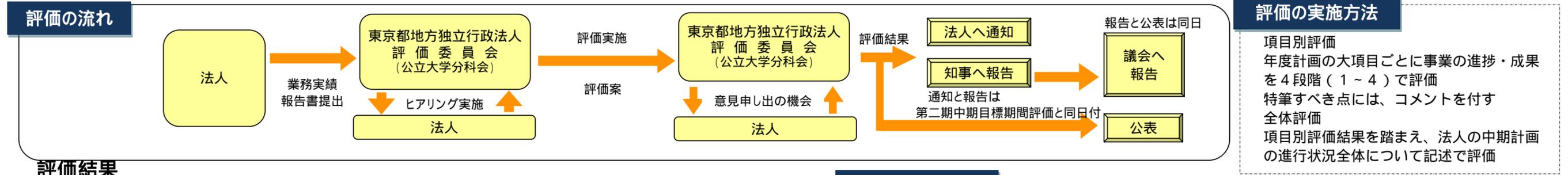


評価方法

公立大学法人首都大学東京（以下「法人」という。）から東京都地方独立行政法人評価委員会（以下「本委員会」という。）に提出された業務実績報告書及び法人に対するヒアリングにより、本委員会としての評価を行う（地方独立行政法人法第28条の規定に基づく年度評価を「公立大学法人首都大学東京の業務実績評価方針及び評価方法」により実施。）。



**評価の実施方法**

項目別評価  
年度計画の大項目ごとに事業の進捗・成果を4段階（1～4）で評価  
特筆すべき点には、コメントを付す  
全体評価  
項目別評価結果を踏まえ、法人の中期計画の進行状況全体について記述で評価

評価結果

1 項目別評価

(1) 評価結果

段階	評定	28年度(案)		27年度		26年度		25年度		24年度		23年度	
		項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
1	大幅に上回って実施	7	15%	3	6%	7	15%	3	6%	5	10%	6	12%
2	順調に実施	39	85%	44	94%	40	83%	45	94%	45	90%	44	86%
3	十分に実施できていない	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	2%
4	大幅な見直し、改善が必要	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
項目数		46	100%	47	100%	48	100%	48	100%	50	100%	51	100%
年度計画なし(外数)		6	-	5	-	4	-	4	-	2	-	1	-

(2) 評価項目

首都大学東京 (15項目)	産業技術大学院大学 (9項目)	法人 (15項目)
<b>教育関連</b>	<b>教育関連</b>	<b>法人運営</b>
入学者選抜	入学者選抜	(戦略的な組織運営)
教育課程・教育方法	教育課程・教育方法	組織の定期的な検証
教育の実施体制	教育の実施体制	教員人事
教育の質の評価・改善	教育の質の評価・改善	職員人事
(成績評価)	学生支援	各センター組織の機能強化
全学を挙げた取組の実践	研究関連	業務執行の効率化
キャリア形成支援	研究の内容等	財務運営
健康支援	(研究実施体制等)	自己収入の改善
(経済的支援)	社会貢献	経費の節減
留学・留学生支援	都政との連携	資産の管理運用
障がいのある学生への支援	産学公の連携推進	自己点検・評価
学内外における学生活動への支援	地域貢献等	自己点検・評価等
<b>研究関連</b>	<b>都立産業技術高等専門学校 (7項目)</b>	情報提供等
研究の内容等	<b>教育関連</b>	<b>その他業務運営</b>
研究実施体制等の整備	入学者選抜	施設設備の整備・活用
<b>社会貢献</b>	教育課程・教育方法	安全管理
都政との連携	(教育の実施体制)	環境への配慮
産学公の連携推進	教育の質の評価・改善	法人倫理
地域貢献等	学生支援	国際化
	研究関連	
	研究の内容等	
	社会貢献	
	都政との連携	
	(産学公の連携推進)	
	地域貢献等	

：評価が1の項目  
括弧書きは年度計画なしの項目

2 全体評価

(1) 総評

「順調に成果を上げ、中期目標の達成につなげたと評価できる」

第二期中期目標期間の最終年度であり、平成29年度から始まる第三期中期目標期間に向け、課題を整理する1年として、年度計画を着実に実施した。

教育改革に向けての取組が顕著であり、2大学1高専がそれぞれの特色を生かした教育・研究方針の下で成果を上げている。

(2) 業務実績について

主な取組	主な評価コメント
<p>《首都大学東京》</p> <p>国際化や国内外の大学等との連携に向けた取組を積極的に推進 授業改善サイクルの起点となる「シラバス作成ガイドライン」を発行し全教員に配布 独自のボランティアプログラムを実施。東京2020大会を見据えた東京都との協力体制基盤を構築</p>	<p>海外でのプロモーション活動やASEANの連携大学との交流の充実など、留学生受入等の拡大につながった取組を高く評価</p> <p>より学生が主体的に授業に関わることができるようにシラバス記載項目の改善を図り、学内で共有した取組等を高く評価</p> <p>東京2020大会を見据え、独自のプログラムや学生団体への支援等により、着実に成果をあげており、高く評価</p>
<p>《産業技術大学院大学》</p> <p>専攻横断型の事業アーキテクトコースにおいて、起業・新規事業を立ち上げた人材を輩出 文部科学省補助事業である「enPiT」に拠点校の一つとして参加。他大学等との相互交流・連携を強化</p>	<p>事業アーキテクトコース修了者から起業や新規事業立上げを行う人材を輩出したことは大きな成果であり高く評価</p> <p>文部科学省補助を受けて他大学等との相互交流と連携強化を図り、セミナー等の人材育成プログラムへの取り組み、教育研究において他大学との連携を強化したことを高く評価</p>
<p>《都立産業技術高等専門学校》</p> <p>情報セキュリティ技術者及び航空技術者の育成について教育プログラムを開設 国際交流ルームの運営の検証・充実及び学生の多様な課外活動への支援を実施</p>	<p>情報セキュリティ技術者養成プログラム及び航空技術者育成プログラムの開設は、産業界のニーズにタイムリーに応える実践的な取組であり、高く評価</p> <p>国際交流ルームにおける「エンジニア英語」、「おもてなし英語」等の企画・実施や、学生の課外活動を支援する取組は、学生の自学自習意欲を引出し、大変意義があり、高く評価</p>
<p>《法人の業務運営》</p> <p>学長裁量枠による教員採用枠を部局に確保し、高い専門性と豊富な実務経験を有する人材を獲得</p>	<p>大学として強化が急がれる分野に対して、学長裁量ポストを有効に活用</p>